

平成26年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 46
ID 115503

【施設状況】

グループ名称	豊野西部児童センター、豊野東部児童館								
指定管理者名	04006	企業組合労協ながの							
所管課	主	115500	こども政策課	副					
構成施設	3385	豊野西部児童センター							
	3384	豊野東部児童館							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	豊野西部児童センター 豊野町石1880 集会室、図書室、プレイルーム、事務室、倉庫、湯沸室他 豊野東部児童館 豊野町大倉2502-2 集会室、家庭科室（小学校校舎内）								
施設設置目的	児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、又は情操を豊かにする。								
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、設置目的を踏まえながら、子ども達が安心して遊べる拠点とするとともに、地域の施設として地域に根ざした施設となることを目指す。								
主な実施事業	施設の運営（運営委員会の設置、職員の配置・研修、自主事業の実施、地域との連携）、施設の維持管理（建築物の保守管理、建築設備保守業務、清掃業務）								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画の一部が予定どおり実施されない 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画が全て実施されない 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	企業組合労協ながの			指定回数	3 回	
指定期間	平成24年4月1日	～	平成27年3月31日	3年	管理運営開始日	平成19年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	施設設置目的や基本方針に沿い、管理運営を行っている。また、財務状況、組織体制も提案時の状況を維持しており、安定している。				

2 施設の有効活用

No. 46

		利用区分等	単位	H23	H24	H25	H26	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人	31,962	32,023	33,281	30,540	92%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 指定児童館の利用に関する業務 指定児童館の施設及び設備の維持管理に関する業務 施設、付属設備及び物品の維持管理に関する業務 放課後子どもプラン事業の円滑な実施に必要な適切な措置に関する業務 			<ul style="list-style-type: none"> 開館時間の延長を実施 				
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー制度の活用、アンケートの実施と反映、お便りの発行など利用者へのサービス向上に資する事業 ヨイショコ祭りや料理教室、子育て講演会など、意見やニーズを盛り込んだ多彩な自主事業を地域組織（母親クラブ）とともに開催。 							
サービス維持・向上の取組み（広報等）		アンケートの実施と反映により、児童の健全な成長と地域による子育てに主眼を置いた館運営を心掛けている。また、子ども会議を開催して、子どもたちが話し合う機会を設けたり、ルールを決めたりしてトラブルの未然防止を図っている。トラブルが発生した場合には、個別に事情を聴き、場合によっては保護者に連絡を取り対応している。また館で対応が困難であれば、受託者がその解決に向けて遅滞なく対処するように努めている。							

3 利用者評価

No. 46

		区分	内容		評価	
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート			3
		(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年9月 利用者アンケートを実施 配布部数：176部、回収：74部、回収率：42% 			
(3) 調査、会議等の結果	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく利用しているか・・・はい：74%、普通：25%、嫌がっている：0% おやつについて・・・今のままでよい：90%、変えてほしい：9% 職員の対応について・・・特に問題ない：94%、変えてほしい：2%、無回答：2% 					
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	「安全に楽しく過ごせている」「安心して任せられる」「親とは違う目線で子育てにかかわり、共に育てていくことに感謝」等の意見が寄せられている。			
		(2) 苦情・改善等の要望事項	「もっと近くに駐車場を確保してほしい」「もっと宿題をみてほしい」「一般的なマナーやしつけが身に付くようにしてほしい」等の要望が寄せられている。			
		<<対応措置>> アンケート調査結果を運営委員会に報告するとともに、要望等について検討し、その結果等を利用者に配布及び館内に掲示している。				

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成26年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		3
	指定管理料	6,069,000	指定管理料	6,069,000	雑（納付金）		雑（納付金）		
支出	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		3
	販売収入等		販売収入等		その他		その他		
計		6,069,000	計	6,069,000	計	0	計	0	
人件費	人件費	5,305,720	人件費	5,311,093	指定管理料	6,069,000	指定管理料	5,876,000	3
	設備管理費	17,280	設備管理費	17,280	委託料		委託料		
備品購入費	備品購入費	77,000	備品購入費	146,888	需用費		需用費		3
	修繕費	30,000	修繕費	70,449	役務費		役務費		
光熱水費	光熱水費	360,000	光熱水費	294,974	使用料・賃借料		使用料・賃借料		3
	事業費	83,000	事業費	69,318	修繕費		修繕費		
事務経費	事務経費	176,000	事務経費	155,758	工事請負費		工事請負費		3
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
計		6,069,000	計	6,069,000	計	6,069,000	計	5,876,000	
自主事業	収入		収入						3
支出			支出						
自主事業損益		0	自主事業損益	0					
損益		0		0	差引	-6,069,000		-5,876,000	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成25年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								87.5%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長2人(2人) 指導員6人(3人)、代替職員4人(4人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

6 危機管理体制 ※すべてで、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 46

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	防犯、防災対策	<input checked="" type="checkbox"/>	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	<input checked="" type="checkbox"/>		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価		
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	4		
協定内容・指定管理者提案			追加された内容、未実施の内容及びその理由
・交通安全教室の開催、ヨイショコ祭りへの参加、流しそうめん・スイカ割の開催、人形劇、もちつき大会等、地域、公民館、世代間等との交流活動を活発に行っている。			

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 62	
施設の有効活用	3	6		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	4	8		

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、実施計画に基づく施設の管理・運営が予定どおり実施されている。 ・利用者評価については、アンケート調査を行い、運営委員会に報告するとともに、アンケートの回答を館内に掲示・配布し保護者への対応も行っている。 ・地域連携は、地元のヨイショコ祭りに参加するなど、地域貢献を行っていることや、地域の子どもは地域で育てるという基本理念のもと、放課後子どもプランアドバイザー制度を積極的に周知・活用するなど、地域に根差した運営を行っている。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	延長時間の見直し。	アンケート調査中に「児童館に臨むこと」の項目を設け、利用者のニーズ調査を行ったが、開館時間の延長についての要望はなかった。	アンケート調査中に「児童館に臨むこと」の項目を設け、利用者のニーズ調査を行ったが、開館時間の延長についての要望はなかった。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	アンケートの回収率が、前年の63%から42%に低下している。利用者が答えやすく、意見・要望等を伝えやすいものとするよう要請
---------------------	---

指定管理者自己評価	C
<p>(1) 今年度の取組みに対する評価</p> <p>① サービス向上に向けての取組み</p> <p>可能な限り要望があれば随時受け入れられるよう下記の取り組みを行い、職員間で話し合い、要望に応えられるように努めた。</p> <p>(1) アンケートの実施 (2) 多様な自主事業の開催 (3) 長野市地域組織児童育成活動との共催事業（意見やニーズを盛り込んだもの） (4) アドバイザー制度の活用 (5) お便りを毎月発行（保護者や地域の方の行事等の参加促進、地域ネットワークの構築） (6) 地域運営委員会の開催</p> <p>また、4月から長野養護学校（校区外）に通う児童の保護者から、土曜日だけの受け入れ要望があり、こども政策課・学校・保護者と協議を行い、職員間でも情報共有しながら受け入れ体制を整え、要望に応えることができた。</p> <p>② 業務の効率化に対する取組み</p> <p>(1) 業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会議を開催し、児童センター・館での決まり事を設定。子ども達の自主性・主体性を発揮できるよう努めた。 個別相談の実施。 学校との懇談会を定期的に開催。意見交換・情報共有を行い、連携・協力を行った。 クレームや事故が発生した場合の緊急連絡網の整備（報告・連絡・相談）。 ミーティング時にケース会議を開催。問題の把握・共有・改善を検討・実施した。 研修会等に参加し、障がいの知識や特性の習得に努めた。 <p>(2) コスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材用具、消耗品等を2館で共同購入、大量仕入れ、価格の安い量販店で購入し、価格を抑える努力をした。 こまめな消灯、節水の呼びかけ、雨水の利用等を行いエネルギー節減に努めた。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の夏祭り（ヨイショコ祭り）に「子どものお店」を開店。長野市地域組織児童育成活動、地域の方々の協力でお店を盛り上げていただいた。 地元公民館と共催した事業を多く実施することができた。共催事業を通じて新たに取り組んだ地域貢献活動（子育て中の母親がリフレッシュするためのリフレッシュ教室）も、食育改善推進委員の方々に協力いただき、継続して実施し、参加者からとても喜ばれた。 近隣住民から改善要望のあった西部児童センターにおけるお迎え時の駐停車について、お便りや市からの通知、保護者への直接的声掛けにより、迷惑駐車がなくなり、クレームの声も挙がらなくなった。 <p>(2) 指定管理者業務実施上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達障がいを持った子ども、ボーダーといわれる子どもが増えていることから、センター・館としても対応できるよう研修会への参加、内部研修等で専門性を高めたい。また、各学校の担任の先生をはじめ、校長先生・教頭先生との情報共有・懇談は欠かせず、今後も継続的に定期協議を開催し、連携を図っていきたい。 西部児童センターにおけるお迎え時の駐停車は、迷惑駐車がなくなり、クレームの声を挙がらなくなったが、再発しないよう気を引き締め、市との連携を密に取りながら、円滑な運営を行っていきたい。 <p>(3) 次年度以降の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーの積極的な活用を行い、子どもたちの体験活動を推進するとともに、地域住民や保護者の参加を促進し、地域ぐるみで子どもたちを見守り育てていくことができるよう取り組んでいきたい。 私たちは「地域で暮らすために求められる仕事をおこし、協同の輪を広げ、住みよい地域をその地域で暮らす人たちと一緒につくる」というビジョンを掲げています。土日祝など障がいを持った子どもたちが過ごせる場所が少ないという声も多々あり、その要望に応え、放課後の居場所（放課後等デイサービス事業）を立ち上げています（平成27年8月予定）。立ち上げ後、障がいがある、なしにかかわらず、誰もが安心して過ごせる子育ての場づくりにも取り組んでいきたい。 	

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る